

平成21年度 学校脊柱側弯症検診集計結果報告書

静岡県医師会学校保健対策委員会 学校脊柱検診結果検討小委員会

委員長 赤堀俊兵 (榛原医師会)
委員 渡辺脩助 (三島市医師会)
司馬立 (静岡市静岡医師会)
斎藤守 (浜松医師会)
滝川一晴 (静岡県立こども病院)

※この報告書は静岡県医師会ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.shizuoka.med.or.jp/child/index.html>

平成21年度 学校脊柱側弯症検診集計によせて

平成21年度の脊柱側弯症検診結果の集計がまとまりましたのでご報告いたします。

今年度特有の傾向は認められませんでした。先進的に取り組んでおられる地域とそうでない地域との差異がより一層鮮明になってきた傾向がうかがわれます。

「脊柱の疾病及び異常の有無を形態等について検査し、側弯症などに注意する」という一項が、学校保健安全法施行規則に規定されており、各学校に義務づけられた法規定になっておりますのは、関係する皆さんご承知のほうでございます。

しかし、モアレ法を用いた診断や、更に進んで最新のシルエッター法を用いた診断体制等を組んで努力しておられる地域が認められる反面、何年にも亘って旧態依然として何の意識変革も努力もなされていないと思われる報告ばかり上げて来られる学校も少なくありません。

側弯症発生率に大きな地域差があるとは考えにくい状況下で、あまりにも常識と乖離した報告（例えば児童数が200～300名以上もあるような大規模校で、一次検診異常者ゼロという報告等）が何年も続く学校の検診姿勢が問題視されて久しいことをご報告しておかなければなりません。

検診には必ずしも大がかりなシステムの導入が必要不可欠ではありません。昭和59年度、この検診事業発足の提案指導は、安くて手軽な5度のハンブ計使用でした。当時この計器は全学校で用意されていたはずでございます。恐らく探せば現在でも各保健室の片隅で埃をかぶっているのが見つかるのではないかと思います。計器使用者の能力差を指摘した初期報告も見られますが、それよりも「検診に取り組む関係者の意識の高さが大切なのではないか」というのが私たち検診委員会委員の現在の認識です。

静岡県医師会においては、上記法律の意向を受けた形で昭和58年度に専門委員会を立ち上げ、そこで作成されたガイドラインに基づいて、翌、昭和59年度から、脊柱検診が行われてきました。当時作成されました指針を見ますと、現在でも全くその通りで通用する立派なものであります。

しかしその後、検診結果の推移を辿ってみますと、その時々々の検診現場の意識状況を反映した形で、報告数に大きな変動が認められます。

昭和59年度から平成21年度までの26年間をあらためて振り返ってみますと、今後この検診事業をより充実して進めていくために解決すべき問題は少なくありません。

総論的に申しますと、検診に関わる学校、学校医、養護の先生、教育委員会、整形外科医、児童生徒の御父兄等総ての組織や関係者の絶えざる努力による相互の深い信頼と理解の形成が必要でありましょう。

今後とも、関係各位のご理解とご協力をお願いするばかりです。

静岡県医師会学校保健対策委員会 学校脊柱検診結果検討小委員会

最近5年間の集計結果の推移

		検査人員	2次異常者数	20度以上重症者数
小学校	17年度	210,047名	109名	男 6名 女 21名 計 27名
	18年度	209,729名 [※]	114名	男 5名 女 16名 計 21名
	19年度	211,474名	102名	男 5名 女 14名 計 19名
	20年度	212,092名	101名	男 4名 女 26名 計 30名
	21年度	210,710名	95名	男 3名 女 16名 計 19名
中学校	17年度	100,386名	281名	男 4名 女 87名 計 91名
	18年度	99,156名	319名	男 8名 女 82名 計 90名
	19年度	100,945名	363名	男 9名 女 94名 計 103名
	20年度	100,832名	313名	男 3名 女 104名 計 107名
	21年度	100,244名	387名	男 10名 女 128名 計 138名

※過去に報告した小学校の平成18年度検査人員に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

誤) 214,802名 → 正) 209,729名

平成21年度 脊柱側わん症検診 集計結果

〈小 学 校〉

郡市医師会	1次検診			2次検診				2次検診の内訳										検診未受診者のうち、以前より治療中の生徒数		
	検査人員 (①)	異常者数 (②)	% (③)	対象者数	受診者数	異常者数 (④)	% (⑤)	側わんの部位			側わんの度		構築性側わんの種別			20度以上				
								胸椎	胸腰椎	腰椎	10度から19度	20度以上	特発性	先天性	その他 (マルファン他)	男子 人数	女子 人数		男子 人数	女子 人数
賀 茂	3,513	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田 方	6,690	22	0.33	22	11	1	0.01	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0
伊 東 市	3,558	2	0.06	2	1	1	0.03	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0
熱 海 市	1,376	11	0.80	11	9	1	0.07	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
御殿場市	6,722	7	0.10	7	7	1	0.01	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
三 島 市	6,229	60	0.96	60	41	6	0.10	1	5	0	6	0	3	0	3	0	0	0	0	1
沼 津	18,279	107	0.59	103	91	13	0.07	4	9	0	13	0	12	0	1	0	0	0	0	2
富 士 市	14,693	108	0.74	108	78	6	0.04	2	4	0	5	1	6	0	0	0	1	0	0	1
富士宮市	7,851	40	0.51	40	36	7	0.09	0	7	0	3	4	4	3	0	0	4	1	0	0
庵 原 郡	1,968	1	0.05	1	1	1	0.05	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
静岡市清水	11,859	11	0.09	10	10	4	0.03	0	4	0	2	2	2	1	1	0	2	0	0	0
静岡市静岡	24,343	62	0.25	62	53	12	0.05	4	8	0	12	0	12	0	0	0	0	1	3	3
焼 津 市	6,904	8	0.12	7	7	2	0.03	1	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0
志 太	9,519	2	0.02	2	2	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥 田 市	4,344	15	0.35	15	14	3	0.07	1	2	0	2	1	2	1	0	1	0	0	0	0
榛 原	6,959	16	0.23	16	16	7	0.10	1	6	0	5	2	6	0	1	0	2	0	0	0
小 笠	10,632	11	0.10	11	9	1	0.01	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0
磐 周	8,085	15	0.19	15	13	2	0.02	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
磐 田 市	8,947	9	0.10	9	6	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浜 松	34,777	278	0.80	278	234	22	0.06	9	13	0	17	5	20	1	1	0	5	1	2	2
浜 名	5,225	27	0.52	27	27	4	0.08	2	2	0	2	2	1	1	2	2	0	0	0	0
浜 北	5,384	30	0.56	30	28	1	0.02	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
引 佐 郡	2,853	6	0.21	6	6	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	210,710	848	0.40	842	700	95	0.05	29	65	1	76	19	74	9	12	3	16	4	9	9

注) (1) ③の数値は、①1次検診検査人員に対する②1次検診異常者数の比率(%)。
 (2) ⑤の数値は、①1次検診検査人員に対する④2次検診異常者数の比率(%)。
 (3) ③及び⑤の数値は小数点以下第3位を四捨五入。
 (4) ④2次検診異常者数について、側わんの度10度未満は異常なしとする。

平成21年 度脊柱側わん症検診 集計結果

〈中 学 校〉

郡市医師会	1次検診			2次検診				2次検診の内訳											検診未受診者のうち、以前より治療中の生徒数	
	検査人員 (①)	異常者数 (②)	％ (③)	対象者数	受診者数	異常者数 (④)	％ (⑤)	側わんの部位			側わんの度		構築性側わんの種別			20度以上				
								胸椎	胸腰椎	腰椎	10度から19度	20度以上	特発性	先天性	その他 (マルファン他)	男子 人数	女子 人数	男子 人数		女子 人数
賀 茂	1,747	3	0.17	3	3	3	0.17	2	1	0	1	2	1	2	0	0	0	2	0	0
田 方	3,562	11	0.31	11	6	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊 東 市	1,826	6	0.33	6	5	2	0.11	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	
熱 海 市	804	7	0.87	7	5	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
御殿場市	3,097	5	0.16	5	5	1	0.03	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
三 島 市	3,096	116	3.75	116	81	23	0.74	11	12	0	15	8	22	0	1	0	8	0	8	
沼 津	8,965	241	2.69	241	205	56	0.62	20	32	4	38	18	48	5	3	1	17	1	11	
富 士 市	7,312	53	0.72	44	34	21	0.29	9	12	0	9	12	21	0	0	3	9	2	2	
富士宮市	3,984	38	0.95	38	26	11	0.28	7	4	0	6	5	11	0	0	0	5	0	3	
庵 原 郡	941	11	1.17	11	8	2	0.21	2	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	
静岡市清水	5,678	109	1.92	109	98	40	0.70	13	22	5	25	15	39	1	0	0	15	0	2	
静岡市静岡	10,577	261	2.47	261	192	76	0.72	21	46	6	53	23	71	0	5	1	22	0	29	
焼 津 市	3,219	103	3.20	101	72	26	0.81	8	18	0	22	4	24	2	0	1	3	2	1	
志 太	4,581	34	0.74	34	29	15	0.33	2	13	0	10	5	15	0	0	0	5	0	4	
鳥 田 市	2,002	11	0.55	11	9	2	0.10	1	1	0	0	2	2	0	0	0	2	0	1	
榛 原	3,497	15	0.43	15	12	4	0.11	4	0	0	2	2	4	0	0	0	2	0	0	
小 笠	5,190	21	0.40	21	13	7	0.13	2	4	1	5	2	7	0	0	0	2	1	1	
磐 周	3,892	10	0.26	10	10	3	0.08	1	2	0	0	3	3	0	0	0	3	0	0	
磐 田 市	4,195	3	0.07	3	3	2	0.05	1	1	0	1	1	2	0	0	0	1	0	1	
浜 松	15,792	464	2.94	464	294	76	0.48	32	40	4	50	26	61	3	12	2	24	1	10	
浜 名	2,433	34	1.40	34	32	9	0.37	5	4	0	4	5	8	0	1	0	5	0	0	
浜 北	2,400	19	0.79	19	13	7	0.29	4	2	1	3	4	5	0	2	2	2	0	1	
引 佐 郡	1,454	20	1.38	20	14	1	0.07	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	
合 計	100,244	1595	1.59	1,584	1,169	387	0.39	147	215	22	249	138	347	16	24	10	128	7	75	

注) (1) ③の数値は、①1次検診検査人員に対する②1次検診異常者数の比率(%)。
 (2) ⑤の数値は、①1次検診検査人員に対する④2次検診異常者数の比率(%)。
 (3) ③及び⑤の数値は小数点以下第3位を四捨五入。
 (4) ④2次検診異常者数について、側わんの度10度未満は異常なしとする。